

2月17日 総務環境委員会 田口一登議員 / 大都市問題特別委員会 岡田ゆき子議員

## 破たんしたトリクルダウン理論にしがみつく **中京独立戦略本部**

2月17日に総務環境委員会と大都市問題特別委員会で、中京独立戦略本部第1回会議(2月9日)の報告があり、田口一登議員と岡田ゆき子議員が市をたどりました。

### 大企業支援のインフラ整備づくり

中京独立戦略本部は、大村知事と河村市長が提唱する「中京都」構想などを推進する司令塔です。第1回会議では、「韓国・中国と闘っていきける競争環境が整備された地域にしていかなければいけない」(トヨタ自動車副社長)、「愛知・名古屋版の成長戦略が必要であり、製造業が国際競争に勝ち・・・」(JR東海副社長)など、大企業の国際競争力の強化という視点からの意見が出されました。日本共産党は「中京都」構想の狙いは、大企業の国際競争力の強化のために、巨大インフラ整備に集中投資する体制づくりにあると指摘してきましたが、それが明らかになっています。

### 強い都市より市民の幸せを

河村市長と大村知事の座談会(中日新聞2月5日付)で、同紙の社会部長が「強い都市よりも」というコメントを寄せ、「『企業や富裕層が経済を引っ張れば全体が潤う』なんてウソだと人々は知っている。庶民を幸せにしている強い都市が世界のどこにあるのか」「人に尽くす公平な社会の実現は、強い都市に勝っている」と述べています。

田口議員は「『大企業が潤えば、やがて中小企業や家計にも利益がしたり落ちて経済がうまくいく』というトリクルダウン理論は破たんしている。しかし、中京独立戦略本部会議の議論には、トリクルダウン理論に立った発想が前面に出ている」と指摘し、岡田議員は「世界に勝つというのがその指標は何か」とたどりました。

2月17日 教育子ども委員会 岡田ゆき子議員

請願  
陳情

## 臨時教員はアルバイトしてもよい と「不採択」

2月6日の教育子ども委員会で、「臨時教員制度の改善」を求める請願など21件の請願が審査されました。

### 野外学習センターは来年度予約を開始

生涯学習センターの直営を求める請願など20件はいずれも検討課題として「保留」となりました。この中で、野外学習センターについては来年度の施設予約を開始したとの報告がありました。

### 教員採用試験の年齢制限廃止は「保留」

「臨時教員制度の改善」を求める請願について、岡田議員が臨時教員の実態をたどし、「週20時間を限度に採用され、目いっぱい働けば月22万。アルバイトもできる」という答え、待遇改善などは一定進められているとして「不採択」となっていました。教員試験の年齢制限廃止は「様子を見たい」と「保留」に。

教育子ども委員会(2012年2月17日)の請願審査の結果

○:採択 ●:不採択

請願(請願者)	主な内容	各派の態度					結果
		共	減	自	公	民	
子どもたちが健やかに育つために公的保育制度の堅持を求める請願(天白区住民)の特別支援学級部分							保留
生涯学習センターの直営を守り、充実させることを求める請願(新日本婦人の会愛知県本部)ほか16件							
女性会館の存続と充実を求める請願(新日本婦人の会愛知県本部)							
野外学習センターの存続を求める請願(北区住民)							
臨時教員制度を改善し、行き届いた教育を求める請願(臨時教員制度を改善しゆきとどい教育を求める会)	1 労働条件の改善で教育に専念できるよう待遇改善を	○	●	●	●	●	不採択
	2 学校を転々とさせず、同一校での任用継続を	○	●	●	●	●	不採択
	3 教員採用選考試験における受験年齢制限の廃止を						保留
	4 臨時教員の経験者は、経験や実績を尊重して選考を	○	●	●	●	●	不採択
	5 必要な教員を正規で採用する	○	●	●	●	●	不採択